

HAKUBAVALLEY TOURISM
令和二年度活動状況報告書
【Annual Report 2020-21】



一般社団法人 HAKUBAVALLEY TOURISM

目次

- ◆ご挨拶
- ◆活動実績と来期活動方針
 - 1. 白馬バレーエリア概況
 - 2. コロナ対策実績
 - 3. その他活動実績
 - 4. 来期活動方針
- ◆KPI(主要成長目標指数)
- ◆予決算概要

ご挨拶

- 新型コロナ問題は2年目に突入しました。何よりも皆様のご無事をお祈り申し上げます。
- 一般社団法人HAKUBA VALLEY TOURISMは、白馬バレー索道事業者プロモーションボード（以下HVPBといいます）を母体に、大町市・白馬村・小谷村で平成31年4月に設立した広域DMO（観光地域づくり法人）です。令和元年6月には長野県から重点指定広域DMOに、同8月には観光庁から日本版DMOに指定されました。
- 白馬バレーを『世界から選ばれる山岳観光地域』にすることが我々の目標です。『観光の三市村統合』を通し、国内外から通年の集客を目指しております。
- 2年目の活動はコロナ問題対応を優先しました。まだ予断を許さない状況ではございますが、アフターコロナ時代への準備も集客・接客・開発のミッションも掲げ活動をして参りました。本書にてその内容をご報告いたします。
- 今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

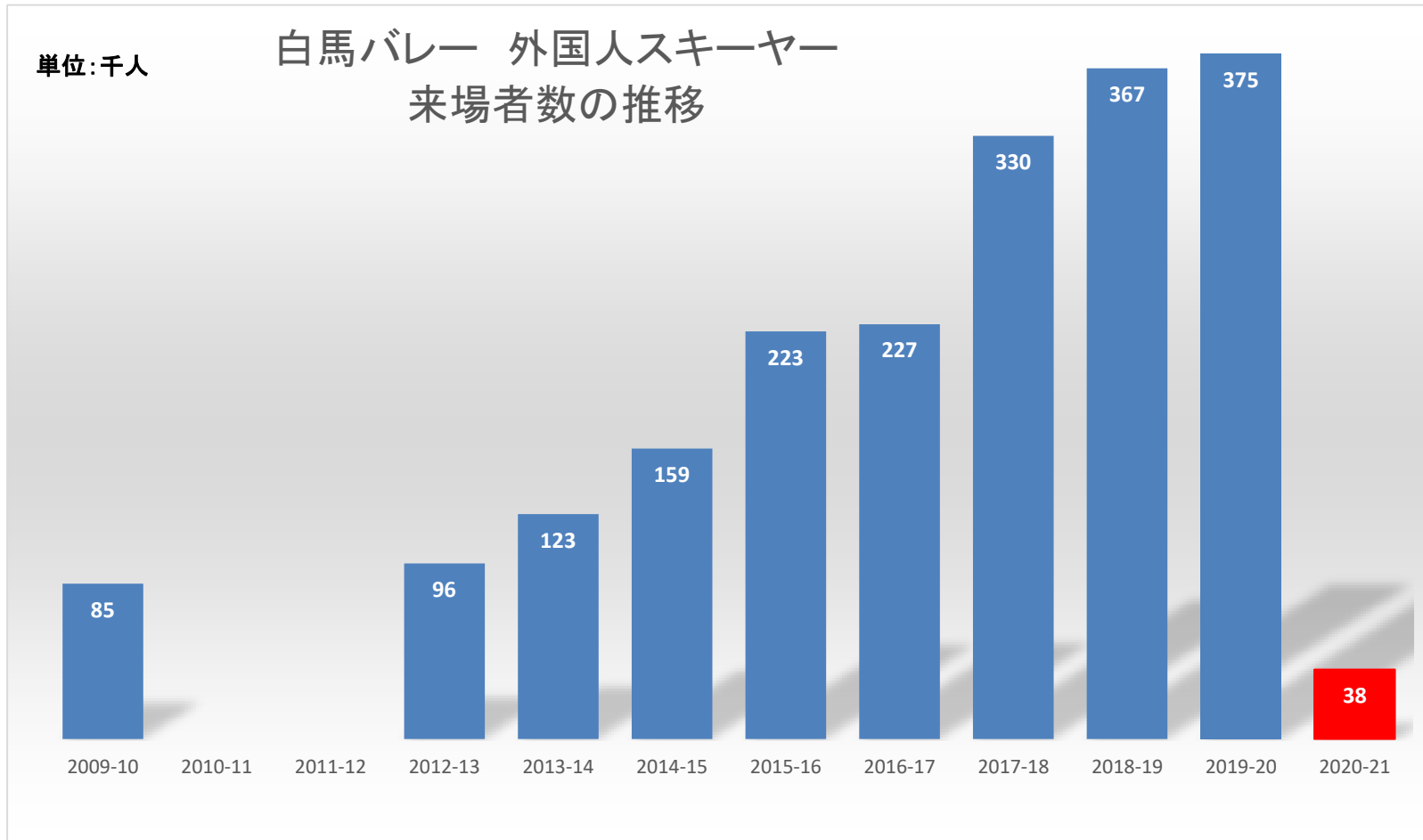
令和3年5月

一般社団法人 HAKUBA VALLEY TOURISM
代表理事 高梨 光



1. 白馬バレーエリア概況（冬期外国人スキーヤー）

新型コロナの影響で冬期外国人スキーヤーの来場は国内居住者に限定され大幅減少。



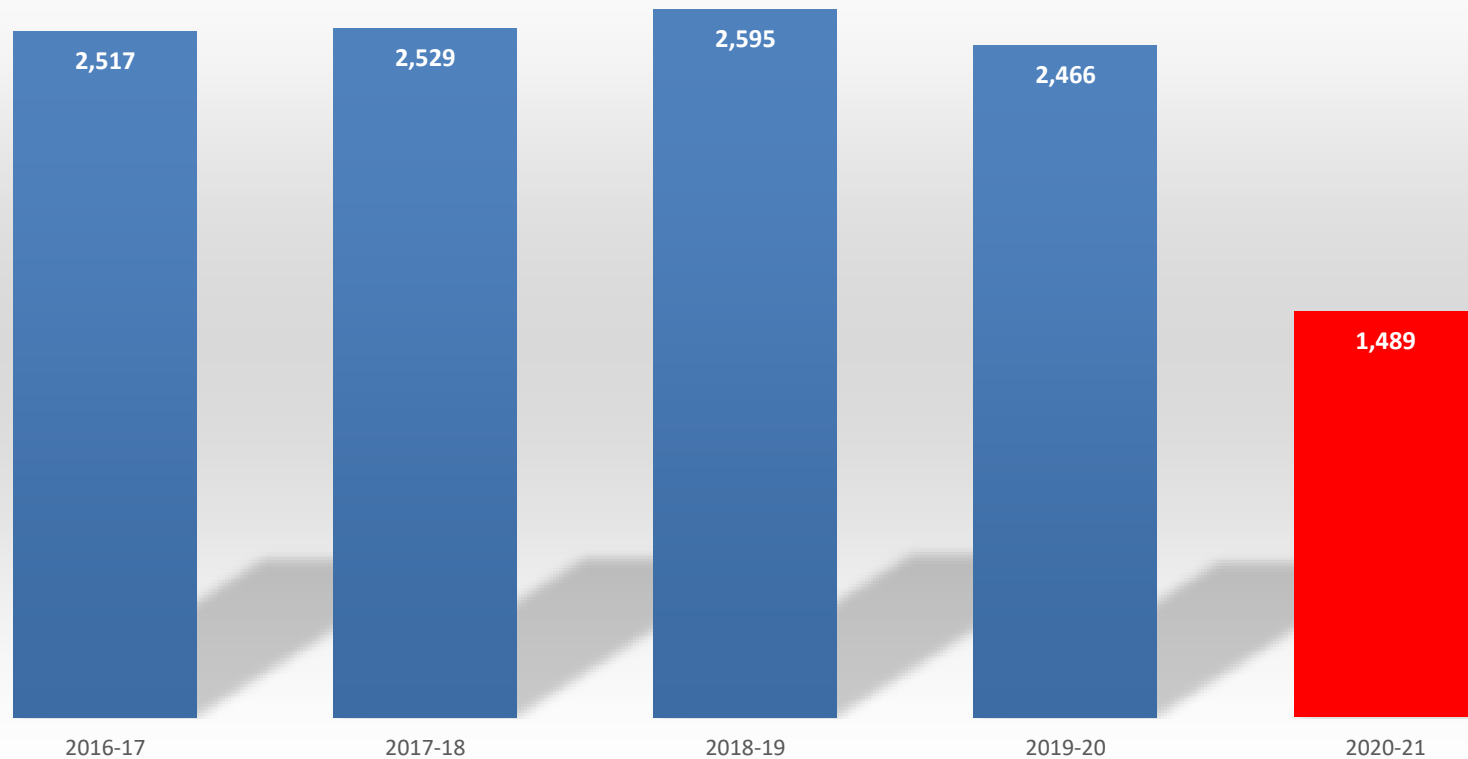
注: 白馬バレーは、爺が岳、鹿島槍、さのさか、五竜、47、八方尾根、岩岳、拇池高原、白馬乗鞍、コルチナの10スキー場で構成

出典: Hakuba Valley 索道事業者Promotion Board(以下HVPBという) 調べ

1. 白馬バレーエリア概況(夏期観光客)

毎年250万人前後で推移していた夏期総来場者数も20年は新型コロナの影響で大幅減少。

単位:千人 3市村 夏期観光客総来場者数の推移



注: 3市村は大町市、白馬村、小谷村

出典: 3市村観光課 調べ

2. コロナ対策の実施

(衛生認証・冬期スキー場対応策)

- ・ エリア一体で感染防止対策を実施するために
HAKUBA VALLEY クリーン認証を実施

1. 対人距離の確保
2. 手指の消毒設備の設置
3. マスクの着用
4. 施設の換気
5. 施設の消毒

3市村宿泊、飲食、小売等関係事業者491社登録



- ・ HAKUBA VALLEY 10スキー場 **感染症対策統一ルール**を策定

今シーズンの取組としてHAKUBA VALLEYエリア10スキー場に対し感染防止のための自主的な統一ルールの策定を呼びかけ、長野県との協議を経て統一ルールを策定。

3. その他活動実績

21年3月期はまず前述のコロナ対策策定会議を優先して行いました。

コロナ対策策定会議: 20年7月HAKUBAVALLEYクリーン認証策定(2回開催)

その後に各専門小委員会の活動を実施致し、活動状況は以下の通りです。

1. **共通パンフレット** : 20年5月夏期パンフレット完成(5回)
: 20年11月冬期パンフレット完成(6回)
2. **共通ホームページ** : 20年11月夏期共通ホームページ完成(8回)
3. **SNS** : 21年1月から3市村の情報を集約しSNSで発信(3回)
4. **営業調整** : 各団体営業集約と出展調整、営業ツール作成(12回)
5. **統一バックカントリールール** : 20年11月統一ルール策定(8回)
6. **SDGs** : 20年10月SDGsビジョン発表、アクションリスト作成(12回)
7. **サイクルトレイル** : 3市村内候補地の抽出、候補地整備計画検討(12回)
8. **景観デザインコード** : 景観デザインコードの策定
3市村総合案内看板・スキー場内案内看板設置
HAKUBAVALLEY八景の選定準備 (12回)

参考)HVT組織図

HVT理事会・役員会の下に必要なに応じ各種小委員会を設立し、課題対応を進め参りました。



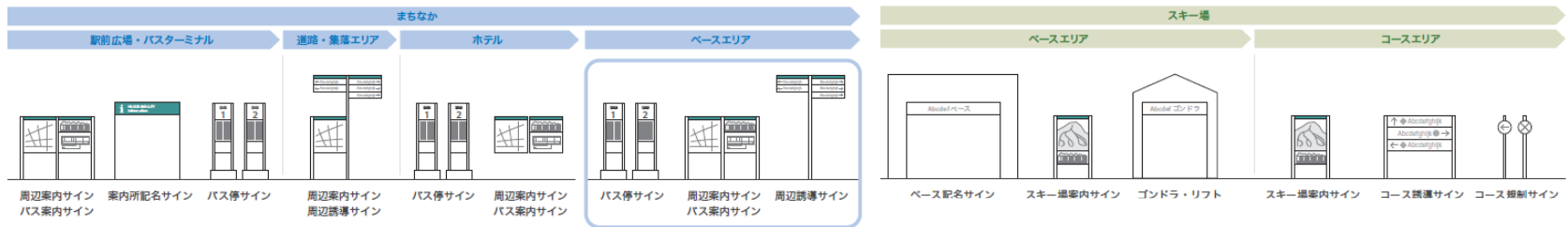
3. その他活動実績

①滞在するだけでも楽しい「まち」の実現

景観デザインコード制定小委員会

ベースタウンとスキー場の再開発による魅力的な「まちなみ」構築を目指して、**景観デザインコード**を作成。サイン類とストリートファニチャーのデザインを統一。

<サインの区分>



三市村内6か所に総合案内看板(三市村予算と県補助金、国補助金を利用)、10スキー場内サイン類約400点(観光庁スノーリゾート整備事業補助金利用)を作成し設置しました。



3. その他活動実績

②世界から顧客を受け入れる環境の実現

感染諸対策検討会議、BC統一ルール制定、パンフレット、ホームページ、SNS小委員会
エリア一体で安全・安心な観光地域を目指し、国内外から顧客を呼び込む環境整備を実施

1. 対人距離の確保
2. 手指の消毒設備の設置
3. マスクの着用
4. 施設の換気
5. 施設の消毒



登録事業者 491社

- ・エリア一体で感染防止対策を実施するため、**HAKUBA VALLEY クリーン認証**を実施
- ・HAKUBA VALLEY 10スキー場の**感染症対策統一ルール**の策定

Powder Snow & Backcountry Skiing

Enjoy premium powder snow and backcountry skiing to your heart's content! To ensure that everyone can safely enjoy their time on the slopes, we have created Hakuba Valley Safety Tips for skiing and snowboarding at all resorts, including backcountry areas.



HAKUBA VALLEY Safety Tips

Safety Precautions

To enjoy the resorts and backcountry in HAKUBA VALLEY safely - This document is intended to provide you with essential information for safe skiing and snowboarding in HAKUBA VALLEY. Although we are dedicated to providing high levels of service, safety is our top priority. Please read these safety tips and enjoy your winter recreation safely.

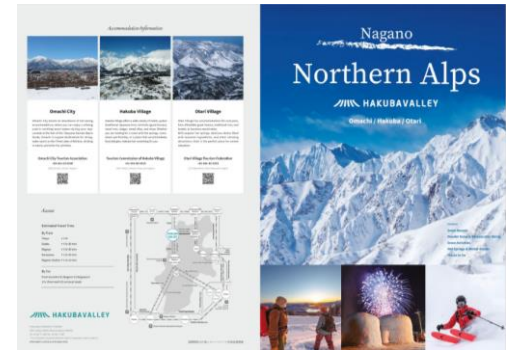
■ Ski resorts

1. Pay attention to "this side" and "that side" signs.
2. Control your speed when skiing or snowboarding.
3. Pay attention to your surroundings and check the situation.
4. Look for and avoid obstacles or hazards.
5. Skiing and snowboarding is prohibited in certain areas.
6. Do not ski or snowboard in unsafe areas.
7. Do not ski or snowboard in unsafe areas.
8. Do not ski or snowboard in unsafe areas.
9. Do not ski or snowboard in unsafe areas.
10. Do not ski or snowboard in unsafe areas.

■ Backcountry

1. Do not ski or snowboard in unsafe areas.
2. Do not ski or snowboard in unsafe areas.
3. Do not ski or snowboard in unsafe areas.
4. Do not ski or snowboard in unsafe areas.
5. Do not ski or snowboard in unsafe areas.
6. Do not ski or snowboard in unsafe areas.
7. Do not ski or snowboard in unsafe areas.
8. Do not ski or snowboard in unsafe areas.
9. Do not ski or snowboard in unsafe areas.
10. Do not ski or snowboard in unsafe areas.

Revised in 2020



Northern Alps
Powder Snow & Backcountry Skiing

Photo: Shingo Nakai

安全なスキーを楽しんでもらうため、**エリア統一のバックカントリールール**を作成



国内外の顧客に分かりやすく情報を伝えるため、**エリア統一のWEBサイト・パンフレット**を構築

3. その他活動実績

③サステナブルツーリズムの実践

SDGs小委員会 エリア一体での持続可能な観光地域づくりへの取組を実施

HAKUBAVALLEYビジョンと中長期目標の策定とアクションリストを作成

自然の豊かさと心の豊かさにあふれる
持続可能な山岳エコツーリズムの聖地へ

- ・多様な生き物を育む北アルプスの山、雪、水をまもります
- ・自然の恵みをいかして、食べ物やエネルギーの地産地消をめざします
- ・人にも自然にもやさしく、住む人も訪れる人も誰もが幸せを感じられる豊かなまちをつくります
- ・先人の知恵を大切にしながら、新たな技術や文化を生み出し、よりよい社会をつくります
- ・未来の世代に持続可能な地域を受け継ぐために、共に学びあひみんなで行動します

**To be a sustainable mountain ecotourism destination,
a sanctuary rich in nature and humanity**

- Protect the mountains, snow and water of the Northern Japan Alps, home to all kinds of life
- Make use of the abundant resources of nature to locally produce food and energy
- Create a community where residents and visitors alike respect one another, enjoy the natural environment and be truly happy
- Build a better society by implementing innovative technological solutions while drawing from the wisdom of our ancestors
- Learn and collaborate so we can leave a better and more sustainable world to the future generations

HAKUBA VALLEY SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs ビジョン

長期目標（国連がSDGs達成を目指す2030年）

HAKUBA VALLEYエリア内全ての事業者がSDGs取り組みチェックシートを実践しており、世界を代表する山岳エコツーリズムの聖地となっている。

中期目標（2025年）

SDGs取り組みチェックシートがエリア内全ての事業者配布されており、全事業者が取り組みを進めている。また、北アルプスの自然環境にとって最も脅威であり緊急性を要する気候危機に関わる項目が優先的に実践されており、HAKUBA VALLEYが特許可能なりゾートとして日本の先駆者となっている。

- ✓ 索道：エリア内全スキー場が電力の再生可能エネルギーへの切り替えを進めている
 ✓ その他、宿泊・飲食・小売の各観光関連事業者向けにも、今後数値目標を設定していく



各事業者においてチェックシートを実践

#	SDG17の目標	目標	事例	サポーター
1			1. 10・15活動¹（委員会における意見交換し成果を課題）の促進 2. 農産品と加工品を農産物消費の促進 3. 地域活性化の促進 4. 食・農・林の連携を促進する 5. 過剰投入の防止 6. 経済的負担を軽減する	サポーター
2			1. 水産物の消費を促進する 2. 水産物の消費を促進する 3. 水産物の消費を促進する 4. 水産物の消費を促進する 5. 水産物の消費を促進する 6. 水産物の消費を促進する	水産物の消費
3			1. プラスチックとロープの回収と再利用 2. プラスチックとロープの回収と再利用 3. プラスチックとロープの回収と再利用 4. プラスチックとロープの回収と再利用 5. プラスチックとロープの回収と再利用 6. プラスチックとロープの回収と再利用	プラスチック製品の回収
4			1. 太陽光発電の導入 2. 太陽光発電の導入 3. 太陽光発電の導入 4. 太陽光発電の導入 5. 太陽光発電の導入 6. 太陽光発電の導入	環境・自然環境の改善
5			1. 都市部の活性化 2. 都市部の活性化 3. 都市部の活性化 4. 都市部の活性化 5. 都市部の活性化 6. 都市部の活性化	まち
6			1. 健康増進の促進 2. 健康増進の促進 3. 健康増進の促進 4. 健康増進の促進 5. 健康増進の促進 6. 健康増進の促進	安心・安全の確保
7			1. 雇用の創出 2. 雇用の創出 3. 雇用の創出 4. 雇用の創出 5. 雇用の創出 6. 雇用の創出	雇い主・労働者
8			1. 都市部の活性化 2. 都市部の活性化 3. 都市部の活性化 4. 都市部の活性化 5. 都市部の活性化 6. 都市部の活性化	まち

脚注：² 宴会における料理の食べ残しがないよう、宴会が始まった最初の30分と最後の10分間は自分の席について料理を楽しみ、食べ残しを減らす取り組み

出典：長野県 <https://www.pref.nagano.lg.jp/hakibut/kurashi/recycling/shigen/kenminundo/campaign.html>

ASC認証食品：責任ある資源管理のもとで育てられた水産物

出典：MSC <https://www.msc.org/jp>, ASC <https://www.asc-aqua.org/ja>

² HAKUBAVALLEY TOURISM制定のクリーン登山制度。

新型コロナウイルスのまん延で防疫が叫ばれる中、「安心・安全」の提供、そしてお客様に快適なリゾート体験を約束する。そのための取り組みは、①従業員の健康管理の徹底、②客の感染予防の対策、③サービスの提供、④施設の清掃

制度は中世制で、各施設で①月入距離の確保、②手洗の消毒設備の設置、③マスクの着用、④施設の換気
装置をステッカーを貼付して提示する。

概要: https://www.hakubavalley.com/files/4715/9645/4676/outline_2020_certification_system_v2.pdf

中書書: https://www.hakubavalley.com/files/5315/9645/4644/declarationsheet_2020_v1.pdf

⁴ 食品等事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因（ハザード）を把握した上で、原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程の中で、それらの危害要因を最も又は低減させるために特に重要な工程を「製品の安全性を確保し、よとする衛生管理の方法」

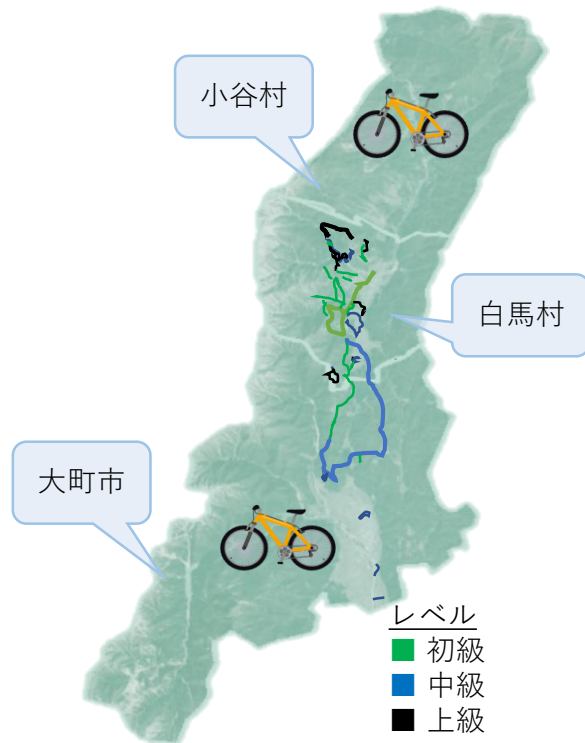
出典：厚生労働省 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/butsu/kenkou_iryuu/shokushin/haccp/index.html

3. その他活動実績

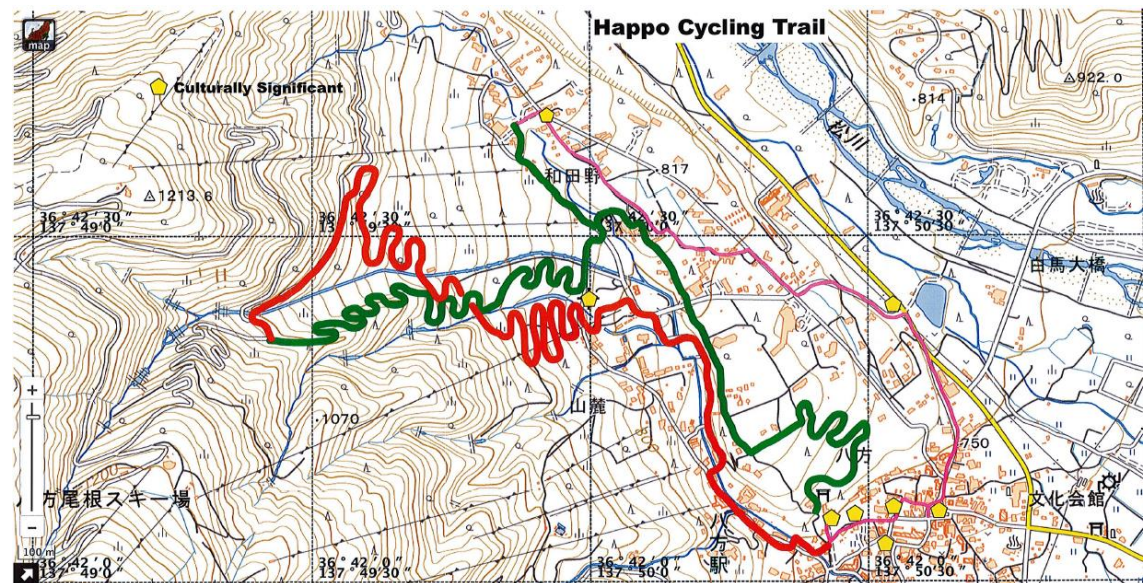
④サイクルトレイル『新塩の道』計画

サイクルトレイル委員会

HAKUBAVALLEY内で新規開発が可能なサイクルトレイルを計画しており、既存のトレイルと結合して**マスタープラン**を策定しております。将来的には、3市村をつなぐ**サイクルトレイル『新塩の道』**の実現を目指します。第一歩とし今期は施工決定した**八方地区のMTBコース建設**に参加します。



八方地区MTB整備計画マップ(令和3年一部整備)



4. 来期活動方針

(1) 活動方針の前提

来期活動の前提となる国内外観光客の回復予測を行います。

(2) 新型コロナウイルスへの対応

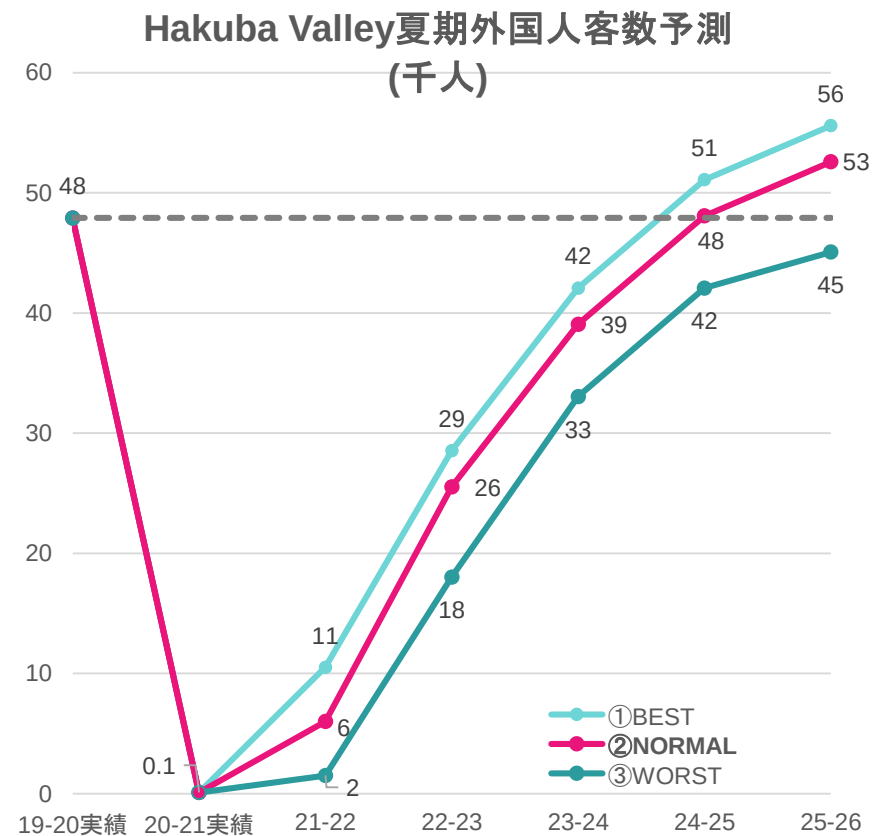
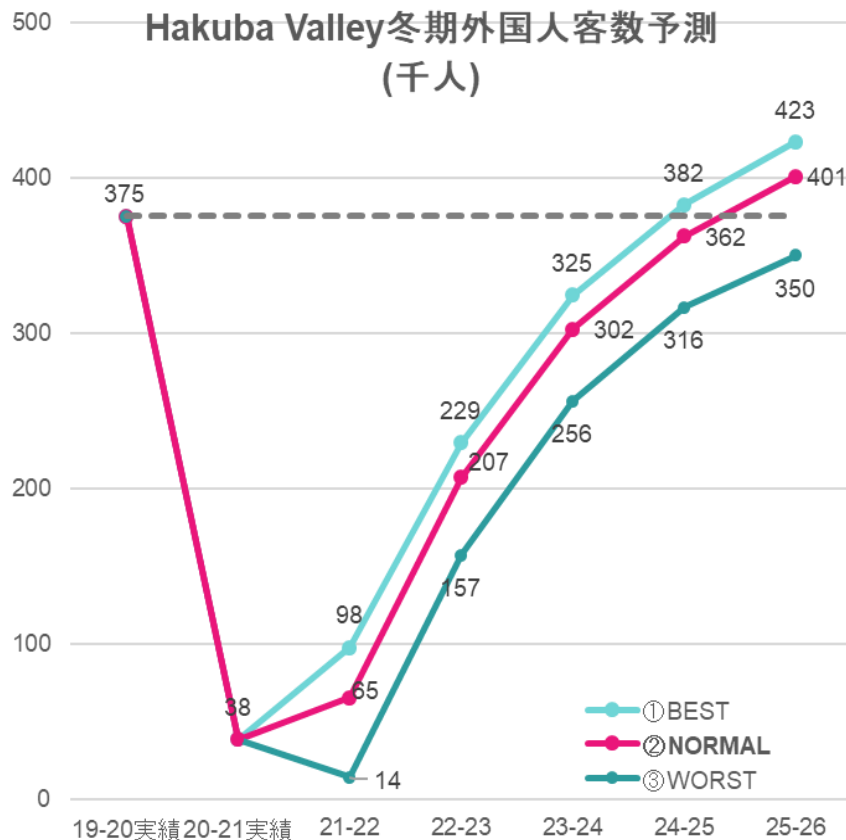
活動に先立ち、攻めと守りのコロナ対応方針を立てます。

(3) 具体的な活動方針

具体的な方針を5つ立案し実行します。

(1) 来期活動方針の前提：外国人来場者数の回復予測

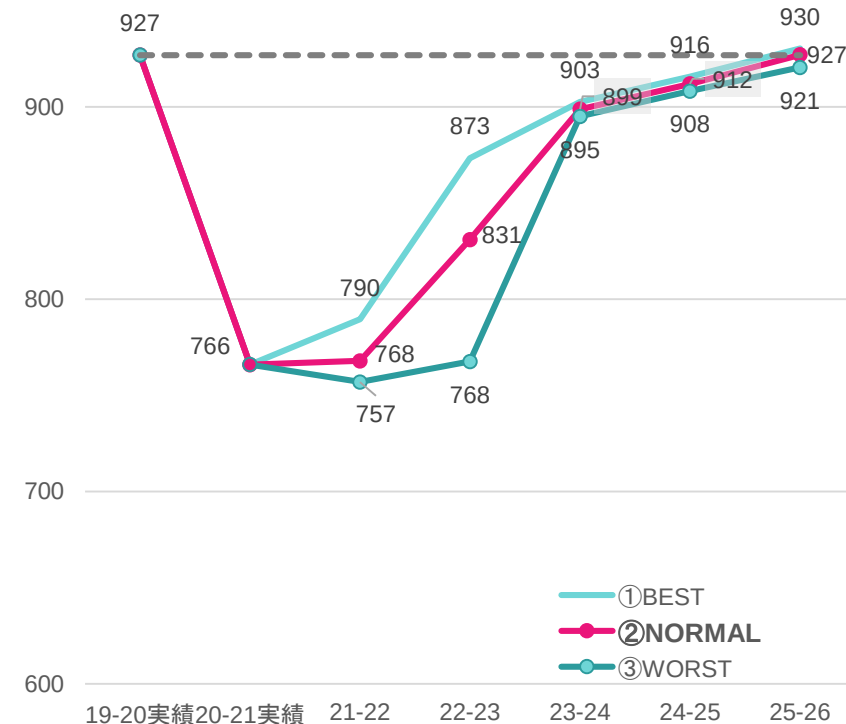
下記の3案を予測しましたが、②のNORMAL予測を採用し、
冬期は2025年、夏期は24年に19年(コロナ以前)の水準まで回復すると予測します。



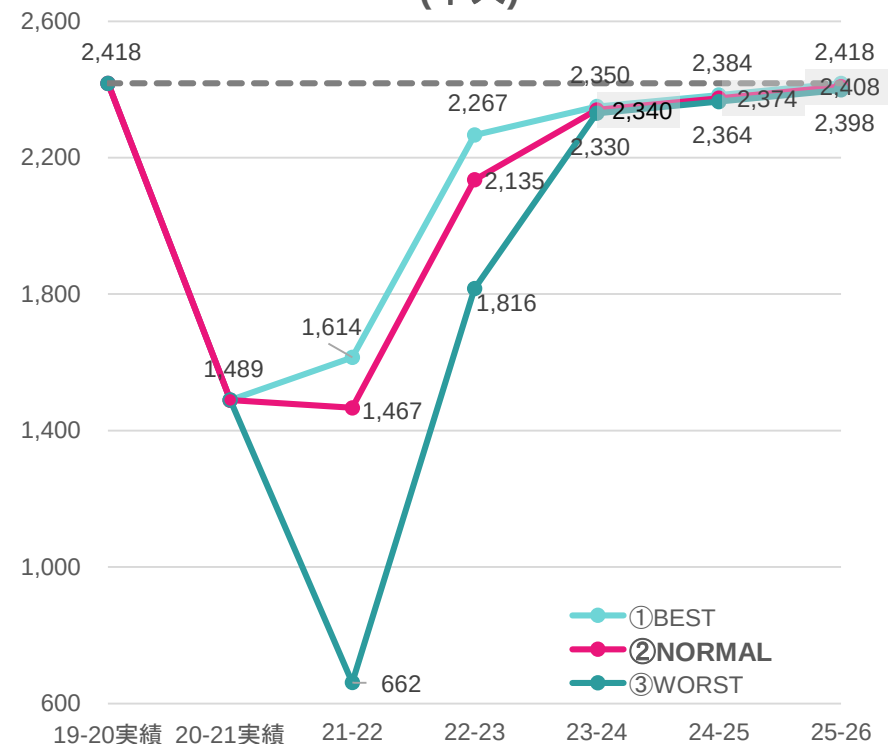
(1) 来期活動方針の前提：日本人来場客数の回復予測

下記の3案を予想しましたが、②のNORMAL予測を採用し、
冬期と夏期共に2025年に19年(コロナ以前)のレベルまで回復すると予測します。
 2021-22通年の回復速度が外国人来場客より速いと考えられます。

Hakuba Valley冬期日本人客数予測
(千人)



Hakuba Valley夏期日本人客数予測
(千人)

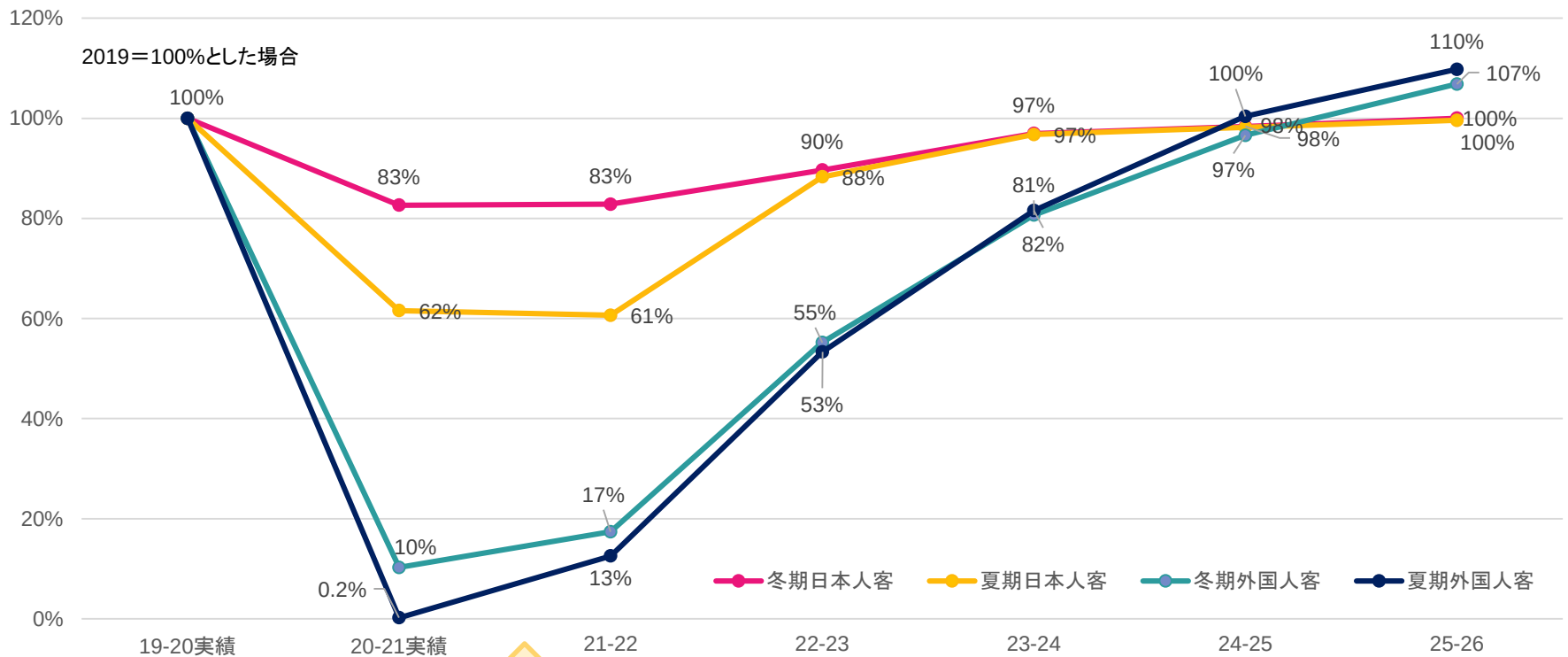


注：2021年2月株式会社 KPMG FASによる『COVID-19による日本人延べ宿泊者数の影響分析』を参考に、HVTが白馬の宿泊客数の回復予測を行った。
 日帰客数は需要回復まではGO TOトラベルと緊急事態宣言状態下の対前比等でHVTが予測し、需要回復後はKPMG FASの回復予測を採用した。

(1) 来期活動方針の前提：国内外客の回復スピードの差異

2019=100%とした回復スピードで比較した場合、
2024年以前は日本人客の回復スピードが外国人客より格段に早いと予想されます。

外国人・日本人来場客数の回復スピード予測(NORMAL)



守りを徹底。外国人回復迄は国内・Expats営業を強化

外国人回復期は国外営業を早めに開始 on-lineは21-22開始

(2) 新型コロナウイルスへの対応

◆ 攻めの事業

国内・海外への営業活動

- 国内在住Expatsへ向けて媒体誌、SNSを使った誘客宣伝のより一層の強化(夏・冬)
- JNTO・長野県と連携して海外開催のBtoCイベントへにWeb参加
- SNSを活用した海外への情報発信
- 開国後の海外セールスへの積極的参加の為の準備
- 国内日本人客誘客強化
専門誌、SNS等で誘客宣伝の強化(夏・冬)

◆ 守りの事業

コロナウイルス対策強化

- HAKUBAVALLEYクリーン認証制度のブラッシュアップと地域へのより一層の普及
- 専門家を活用した講習会の開催
- 10スキー場統一ルールのより一層の徹底
- 感染対策動画を作成し事業者への対策を普及
- 北アルプス圏域の病床確保に向けた要望書の提出

(3) 具体的な活動方針

① 周遊観光 アルペンルート・塩の道と連携

当エリアは長野・松本両市以外にもアルペンルート経由富山県・塩の道経由糸魚川と隣接しており、両エリアとの周遊観光の潜在需要が大きいと考えられます。今年度、夏期来場客へのアンケート調査で両ルートとの連携の重要性を再確認して、両ルートと連携強化による相互送客を実施して集客増を図ります。



(3) 具体的な活動方針

② 大町市イベントを基軸とした連携強化策



- **北アルプス国際芸術祭**

- 実行委員会との連携強化
- パスポート販売に向けた宣伝強化
- HVTのホームページでの告知と各事業者への宣伝協力の依頼
- 各事業者へのパンフレット設置とポスター掲出依頼
- **EV事業と連携**した広域周遊の活用



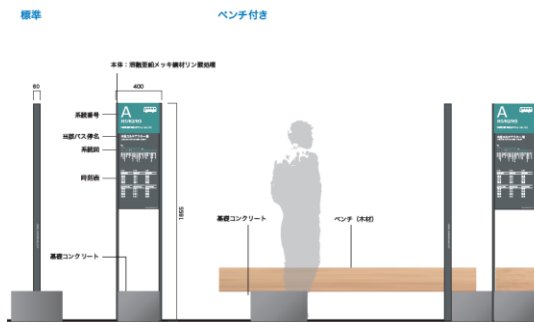
- **立山黒部アルペンルート開業50周年**

- 開業50周年を迎えるアルペンルートとの連携強化
- HVT専門委員会を通じて連携強化策の検討

(3) 具体的な活動方針

③ 滞在するだけでも楽しい「まち」の実現

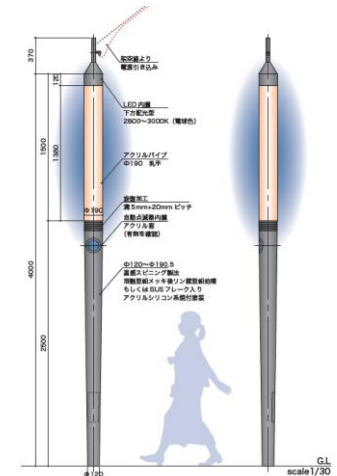
- エリア内周遊バスの効率化・多言語化に向けた**交通サイン統一**を開始します。昨年策定した景観デザインコードに準拠し、スムーズな交通誘導を実現します。



D. バス停サイン：参考表示



- 景観デザインコード**モデル地区
八方区街路灯を南雲勝志氏の
のデザインで整備します。
- HAKUBAVALLEY八景**を選定します。
- 八方MTBトレイルコース**整備に参画。
- ガストロノミーツーリズム**(食文化)小委員会立上げと研究を開始します。



(3) 具体的な活動方針

④ 世界から顧客を受け入れる環境整備

- インバウンド旅行者がストレスなく、まちあるきができる環境を
広域的に整備します。（キャッシュレス・Wi-Fi環境等）



- 満足度向上に向けた通年でのマーケティングデータを
収集し分析します。（夏期アンケートの実施）
- 二次交通からアクティビティ・宿泊施設等を
ワンストップで予約・決済できるWEBサイト
の構築を目指します。

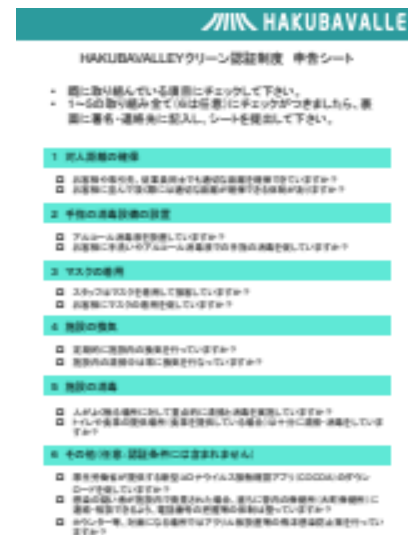


(3) 具体的な活動方針

⑤ サステナブルツーリズムのブランドづくり

・SDGs地域への普及・啓発、チェックシートの作成、講演会開催

・HAKUBA VALLEY クリーン認証制度など事業者と連携したエリア一体での感染症対策を推進します。



(3) 具体的な活動方針

⑤ サスティナブルツーリズムのブランドづくり

・大町市 クリーンモビリティ(電気自動車)実証でゼロカーボン推進

低炭素型パーソナルモビリティ、小型で扱いやすい電動モビリティの普及により、公共交通を補完し、子育て世代や高齢者などの負担の軽減や社会活動を可能とします。この事業とHVTは連携を図ります。



1人乗りの電動オートバイ



2人乗りの乗用タイプのEV



3輪低速乗用車[3人乗り]



Nao 8人乗り[グリーンスローモビリティ]

信濃大町駅前 JAPAN DISCOVERY CENTER大町とレンタルされるEV自動車

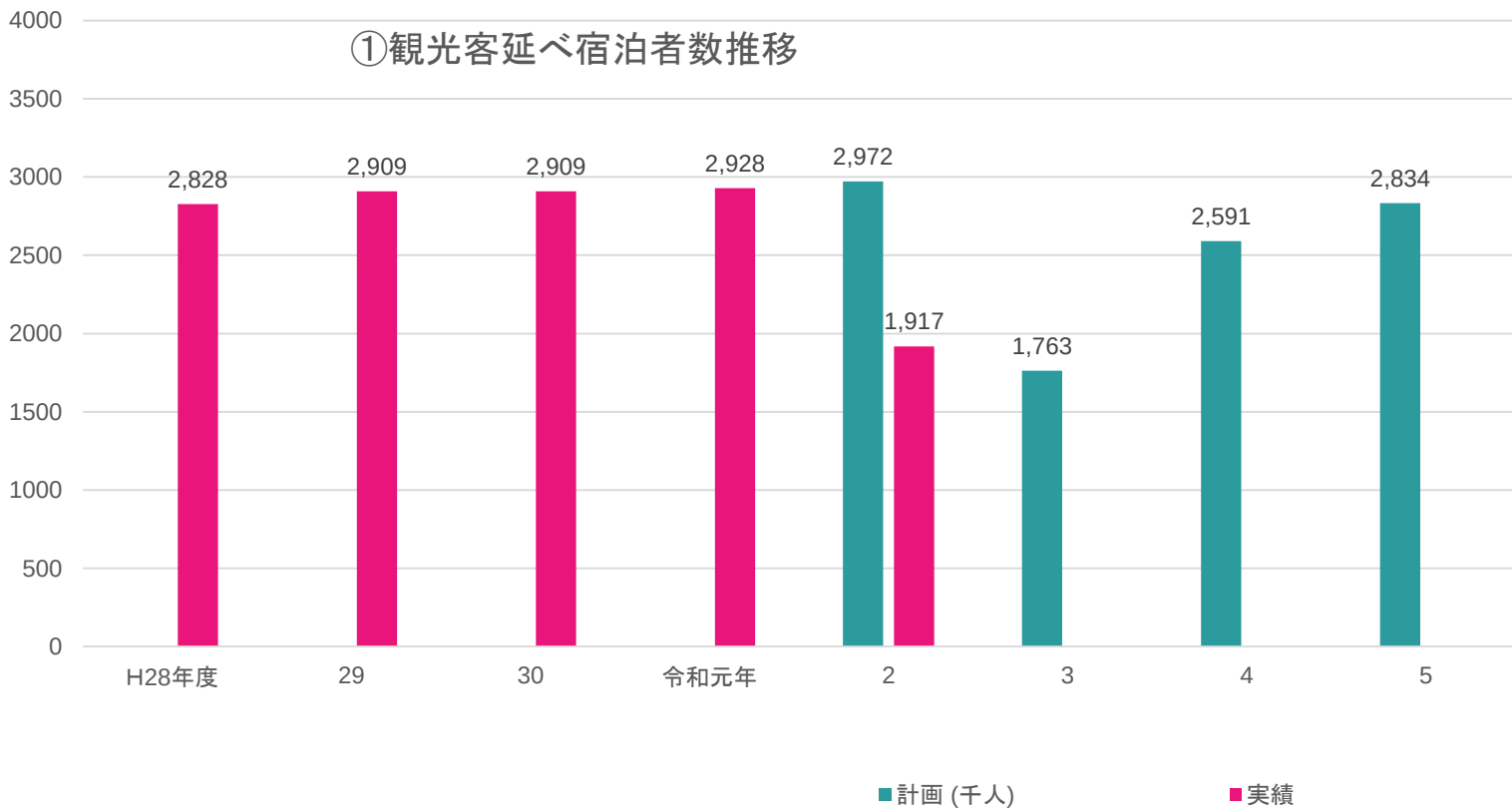
KPI(主要成長目標指数)

昨年、通年・冬期・夏期に対し計8種のKPIを設定しましたが、新型コロナウイルスの影響で大きな落込みがございました。今回P14-15の回復予測に従い大幅な見直しを行いました。今後は毎年この数値で成果を確認しながら進みます。



KPI(成長目標指数)① 観光客延べ宿泊者数

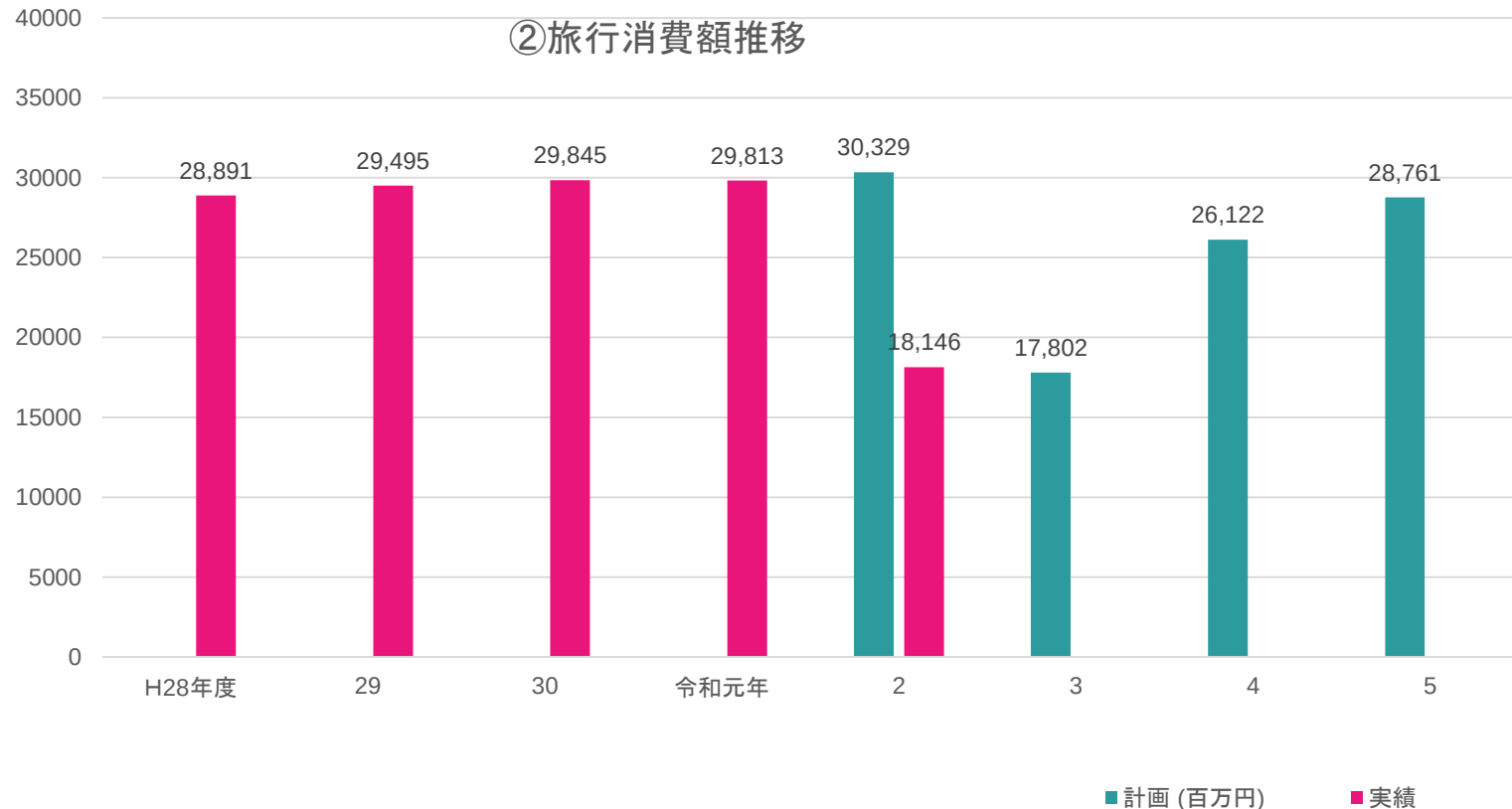
令和2年は新型コロナの影響で計画値より大幅にダウンしました。



注: 22/1月までに高リスク集団のワクチン接種計画が完了することを前提にKPMGの予測値から推測
出典: 三市村調べ

KPI(成長目標指数)② 旅行消費額

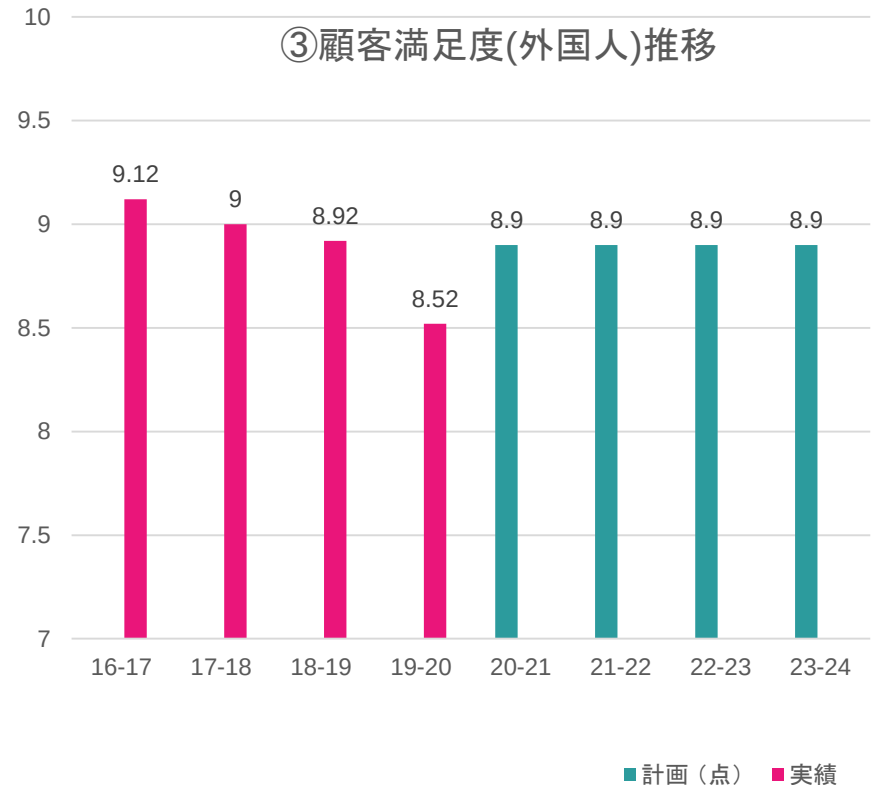
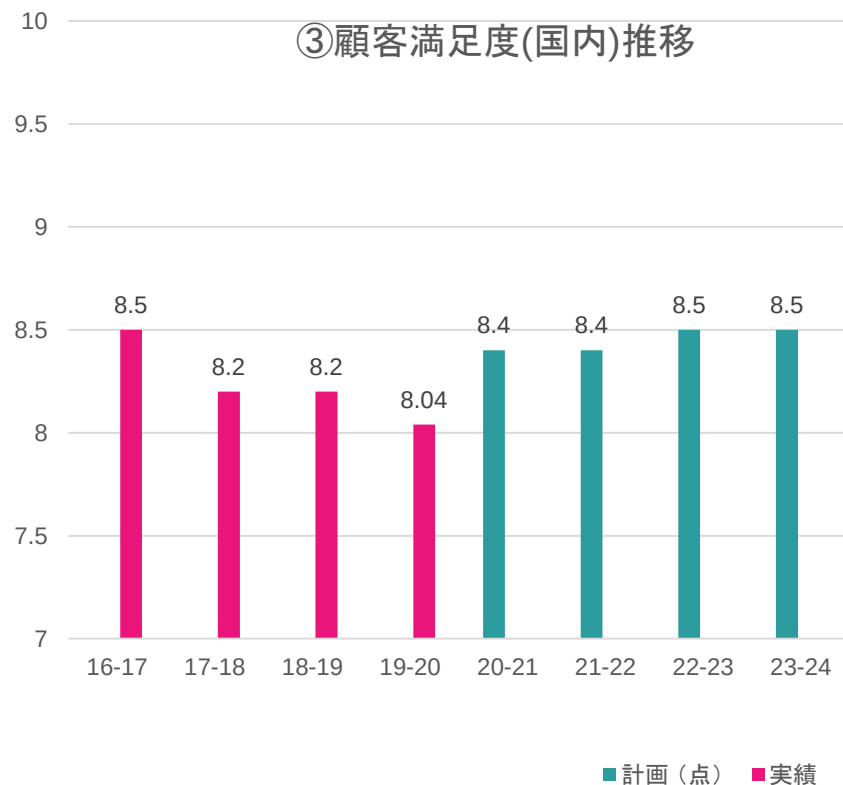
新型コロナによる来場者減により消費額も大幅にダウンしました。



注: 22/1月までに高リスク集団のワクチン接種計画が完了することを前提にKPMGの予測値から推測
出典: 三市村調べ

KPI(成長目標指数)③ 冬期(スキー場)来訪者満足度

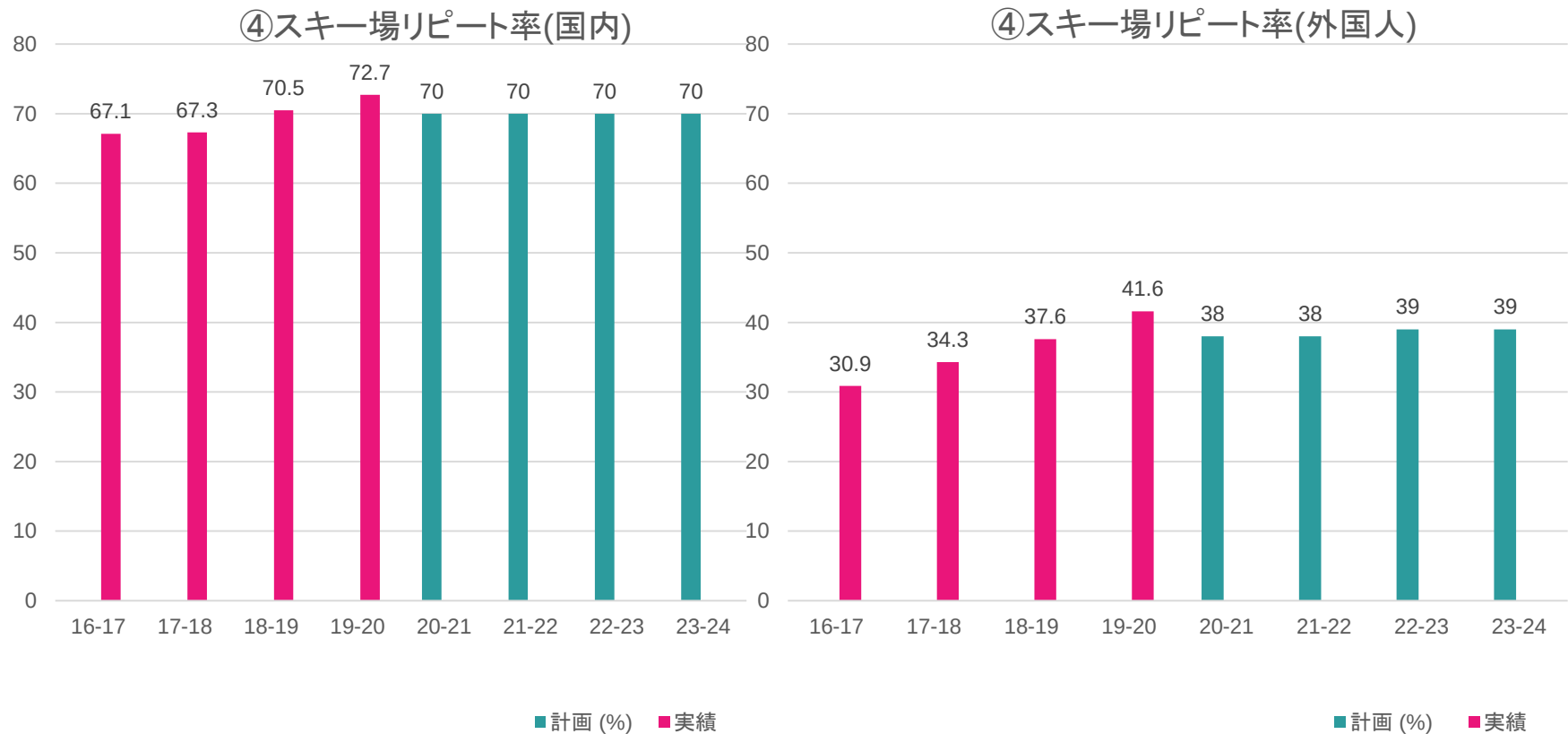
国内は8.5点達成を、外国人は8.9点確保を目標とします。



注: 22/1月までに高リスク集団のワクチン接種計画が完了することを前提にKPMGの予測値から推測
出典: HVPB調べ

KPI(成長目標指数)④ 冬期(スキー場)リピート率

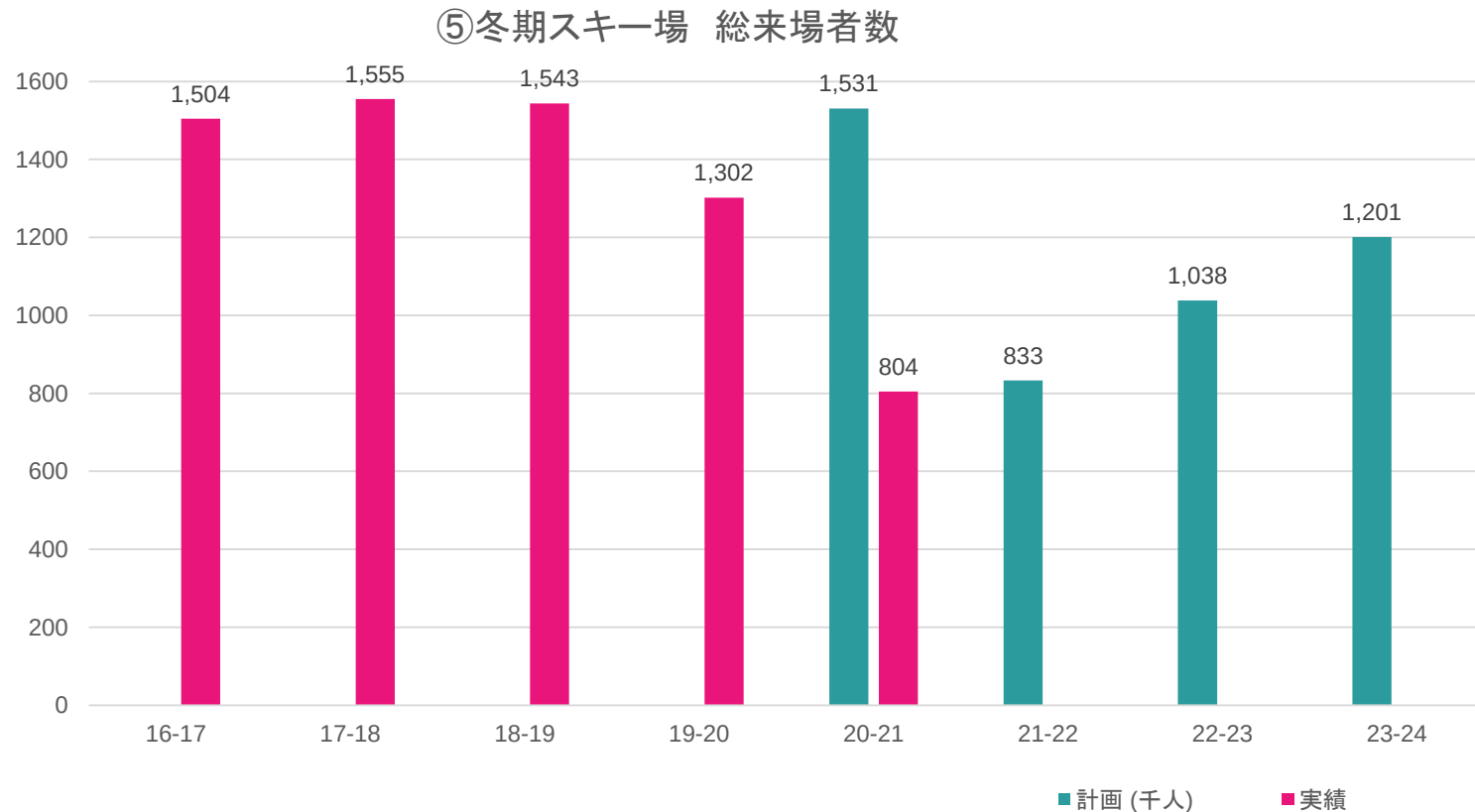
国内は70%確保を、外国人は39%達成を目標とします。



注: 22/1月までに高リスク集団のワクチン接種計画が完了することを前提にKPMGの予測値から推測
出典: HVPB調べ

KPI(成長目標指数)⑤ 冬期スキー場総来場者数

今期は新型コロナウイルスによる緊急事態宣言、GOTOトラベルの中止で大幅に落ち込みました。回復には数年かかる見込みです。



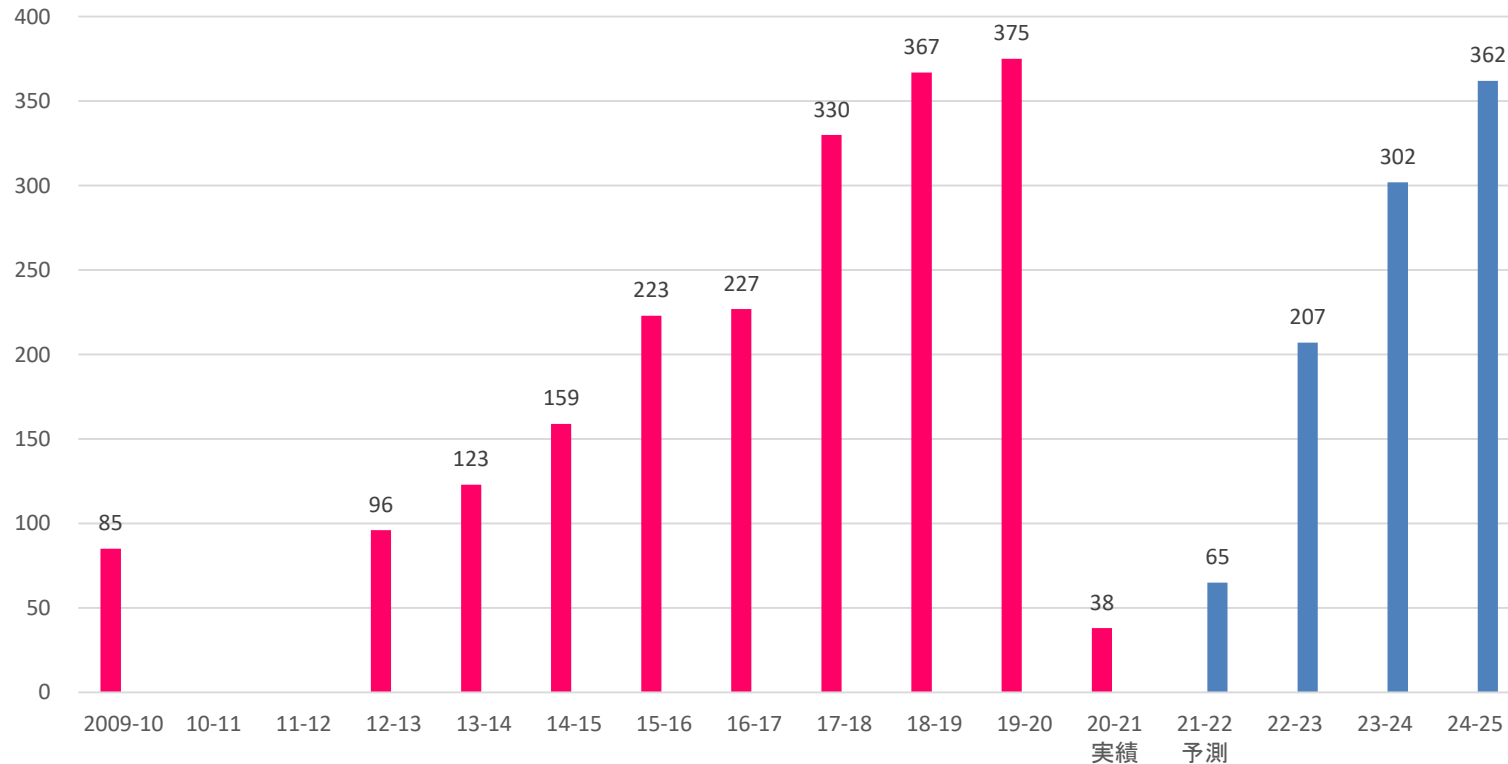
注: 22/1月までに高リスク集団のワクチン接種計画が完了することを前提にKPMGの予測値から推測
出典: HVPB調べ

KPI(成長目標指数)⑥ ⑤の内外国人来場者数

今期は新型コロナウイルスの影響で入国制限となり海外からの入込はゼロ。
国内在住の外国人の利用のみとなりました。

(千人)

白馬バレーエリア 外国人来場者数の推移 (単位:千人)



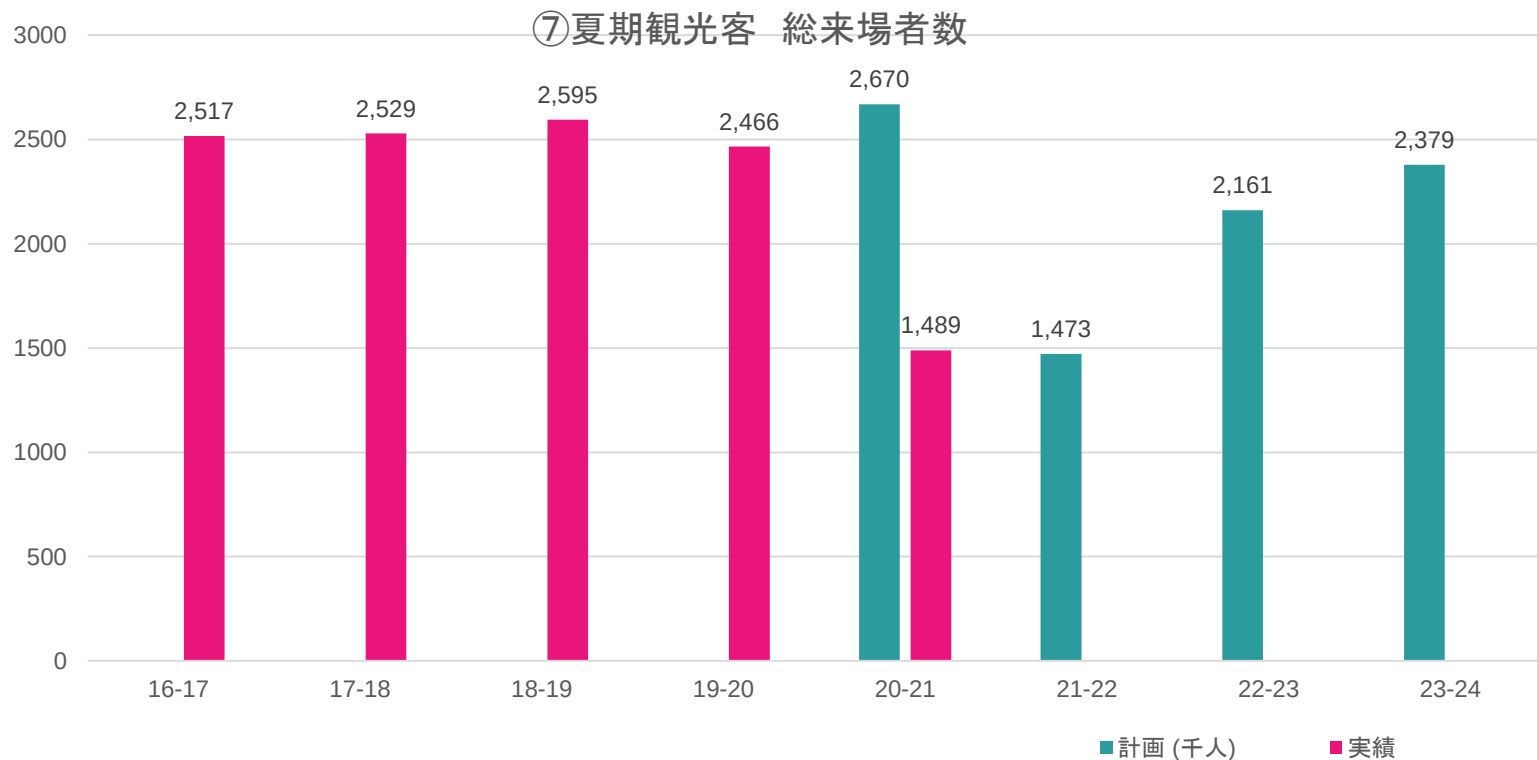
注: IATAの回復予測を参照にKPMGの国別外国人需要回復予測とHakuba Valley 2019-20年の国別外国人実績割合で推測

注: 白馬バレーは、爺が岳、鹿島槍、さのさか、五竜、Hakuba47、八方尾根、岩岳、拇池高原、白馬乗鞍、コルチナの10スキー場で構成

出典: HAKUBA VALLEY入込推移実績と将来推計

KPI(成長目標指数)⑦ 夏期観光客総来場者数

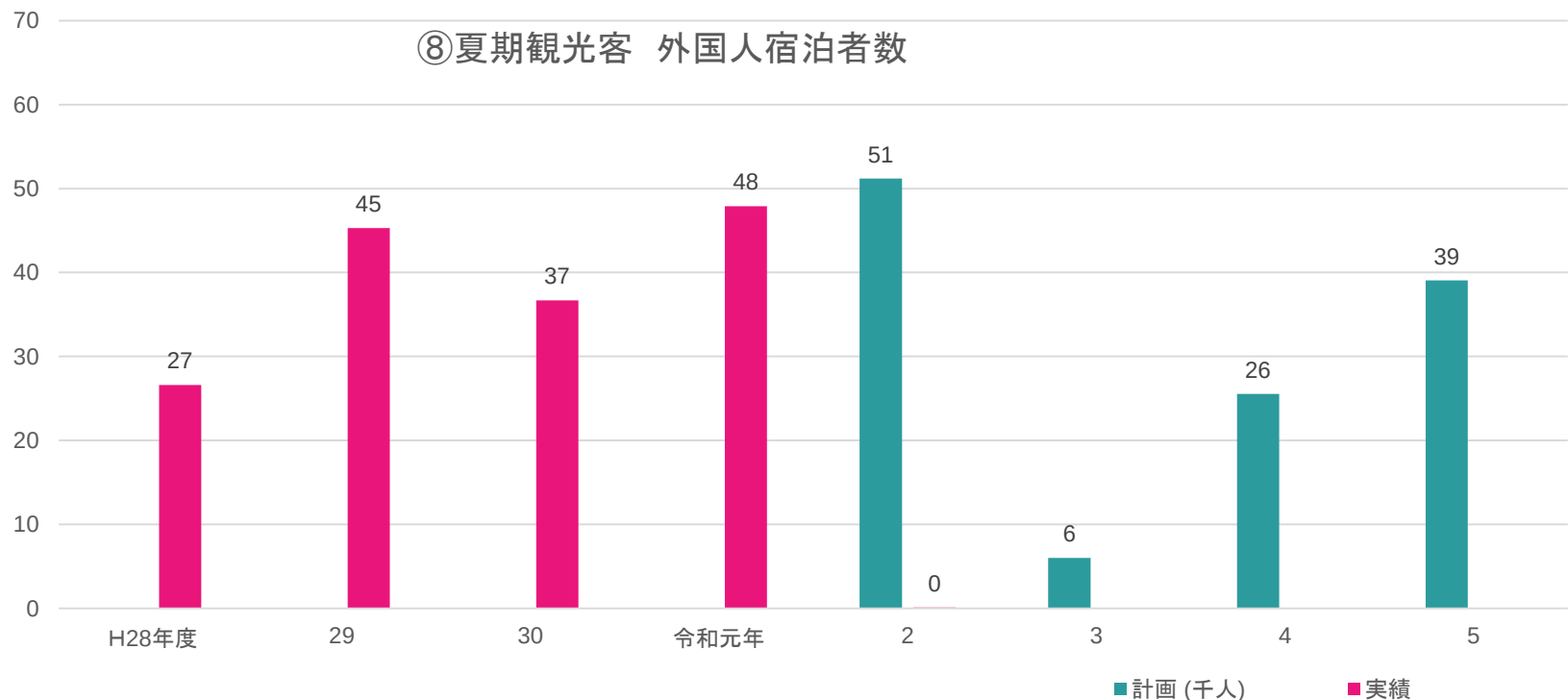
新型コロナウイルスにより夏期の来場者数は大幅に落ち込みます。
今後回復には暫く時間がかかる見込みです。



注: 22/1月までに高リスク集団のワクチン接種計画が完了することを前提にKPMGの予測値から推測
出典: 三市村調べ

KPI(成長目標指数)⑧ ⑦の内外国人宿泊者数

海外からの入国制限により今年度のインバウンド宿泊者ゼロ。
こちらも回復には暫く時間がかかる見込みです。



注: IATAの回復予測を参照にKPMGの国別外国人需要回復予測とHakuba Valley 2019-20年の国別外国人実績割合で推測
出典: 三市村調べ

予決算概要 - 決算(収入の部)

令和二年度 一般社団法人HAKUBA VALLEY TOURISM 収支決算書

収入済額 81,303,660 円

支出済額 73,449,540 円

次年度繰越額 7,854,120 円

令和2年4月1日～令和3年3月31日

(単位:円)

収入の部

項目	内訳	予算額	収入済額	差異	摘要
1.前年度繰越金	1.預り金	29,394	209,784	180,390	事務職員給与からの預り金(源泉所得税、雇用保険従業員負担分)
	2.繰越金	9,723,111	9,723,111	0	前年度からの繰越金
	小計	9,752,505	9,932,895	180,390	
2.会費	1.1号会員(3市村)	21,000,000	21,000,000	0	大町市、白馬村、小谷村
	2.2号会員(索道事業者協議会)	14,000,000	14,000,000	0	大北地区索道事業者協議会
	3.3号会員(観光3団体)	900,000	900,000	0	大町市観光協会、白馬村観光局、小谷村観光連盟
	4.4号会員(その他)	300,000	0	-300,000	
	小計	36,200,000	35,900,000	-300,000	
3.負担金	1.索道事業者協議会	4,000,000	4,000,000	0	スノーリゾート整備事業
	小計	4,000,000	4,000,000	0	
4.補助金(国・長野県・県観光機構)	1.デザインコード作成事業	3,000,000	2,997,000	-3,000	長野県重点支援事業補助金
	2.3市村統合多言語対応HP作成事業	1,500,000	1,471,000	-29,000	長野県重点支援事業補助金
	3.3市村統合多言語パンフレット作成事業	1,768,000	1,768,000	0	長野県重点支援事業補助金、観光振興事業費補助金(スノーリゾート形成促進事業)
	4.BCルール事業	1,940,000	1,940,000	0	長野県重点支援事業補助金、観光振興事業費補助金(スノーリゾート形成促進事業)
	5.スノーリゾート整備事業	11,950,000	11,962,000	12,000	スノーリゾートスキー場統一案内標識整備負担金、長野県重点支援事業補助金、観光振興事業費補助金(スノーリゾート形成促進事業)
	6.クリーン認証制度策定事業	524,070	246,141	-277,929	観光振興地域協働事業支援金
	小計	20,682,070	20,384,141	-297,929	
5.雑収入	1.雑収入	495	30,194	29,699	預金利子その他
	小計	495	30,194	29,699	
6.借入金	1.借入金	0	11,056,430	11,056,430	HAKUBA VALLEY索道事業者プロモーションボード
	小計	0	11,056,430	11,056,430	
計		70,635,070	81,303,660	10,668,590	

予決算概要 - 決算(支出の部)

支出の部

項目	内訳	予算額	支出済額	差異	摘要
1.事業費	1.デザインコード作成事業	6,000,000	6,096,712	96,712	白馬バレー景観デザインコード策定業務費、3市村説明会の講師謝礼金・案内チラシ制作費等
	2.ホームページ関係費	3,000,000	2,945,340	-54,660	HAKUBA VALLEY共通ホームページ制作等
		160,000	15,840	-144,160	プロバイダ利用料2020年5月分～2021年4月分
	3.パンフレット作成費	3,268,000	3,435,480	167,480	北アルプス冬期総合パンフレット製作費(日本語版・英語中国語版)、2020北アルプス夏期総合パンフレットデザイン制作費等
	4.プロモーション関係費	541,770	0	-541,770	
	5.BCルール策定事業	2,940,000	2,944,390	4,390	ポケット版トレイルマップ製作費(英語版・日本語版)、ゲレンデマップ送料等
	6.スノーリゾート整備事業	15,950,000	15,972,960	22,960	白馬バレースキー場サイン看板製作業務料、白馬バレー場サイン表示標準レイアウト指定図作成業務料等
	7.クリーン認証制度策定事業	582,300	285,826	-296,474	クリーン認証制度ステッカー2,000枚製作代、感染症防止セミナー講師料、クリーン認証制度プレスリリース費用等
	小計	32,442,070	31,696,548	-745,522	
2.管理費	1.給与・手当	29,450,000	23,782,000	-5,668,000	事務職員6名分人件費
	2.法定福利費	4,590,000	3,756,556	-833,444	事務職員6名分社会保険料・労働保険料等
	3.退職金引当金	1,440,000	697,000	-743,000	事務職員4名分退職金積立
	4.事務所関係費	1,300,000	1,238,400	-61,600	事務所使用料(水道光熱費・電話FAXコピー使用料等)2020年3月分～2021年2月分
	5.需用費	715,000	632,463	-82,537	(支払手数料) 各種支払いの際、振込料 ¥60,550-
					(旅費交通費) 会場への移動の際、交通費等 ¥6,351-
					(外注費) 会議録原稿起こし、PC各種設定、プレスリリース、委託料 ¥292,380-
					(会議費) 打合せ飲食代、会議の折、お茶代等 ¥3,280-
					(通信費) 切手代・郵送料等 ¥8,362-
					(消耗品費) 名刺、印鑑、事務消耗品等 ¥42,239-
					(リース費) PCリース料、携帯電話通信料、ZOOM利用料等 ¥219,301-
	6.会計代行費用	600,000	541,549	-58,451	会計顧問料、給与計算業務委託費、役員変更登記処理費用等
	7.法人税等	60,000	19,200	-40,800	法人県民税(均等割)
	8.預り金支払い	29,394	29,394	0	事務職員の住民税、社会保険料、源泉所得税
	合計	38,184,394	30,696,562	-7,487,832	
3.予備費	1.予備費	8,606	0	-8,606	
	合計	8,606	0	-8,606	
4.借入金の返済	1.借入金の返済	0	11,056,430	11,056,430	HAKUBA VALLEY索道事業者プロモーションボードからの借入金の返済
	合計	0	11,056,430	11,056,430	
計		70,635,070	73,449,540	2,814,470	

注記

※本会計処理は、現金主義による収支決算書にて処理しています。

予決算概要 - 予算(収入の部)

令和三年度 一般社団法人HAKUBA VALLEY TOURISM 収支予算書(案)

収入予算額 71,742,300 円

支出予算額 71,742,300 円

令和3年4月1日～令和4年3月31日

(単位:円)

収入の部					
項目	内訳	予算額	前年度収入済額	差異	摘要
1.前年度繰越金	1.預かり金	180,390	209,784	-29,394	前年度より
	2.繰越金	7,673,730	9,723,111	-2,049,381	前年度より
	小計	7,854,120	9,932,895	-2,078,775	
2.会費	1.1号会員(3市村)	21,000,000	21,000,000	0	大町市、白馬村、小谷村
	2.2号会員(索道事業者協議会)	14,000,000	14,000,000	0	大北地区索道事業者協議会
	3.3号会員(観光3団体)	900,000	900,000	0	大町市観光協会、白馬村観光局、小谷村観光連盟
	4.4号会員(その他)	300,000	0	300,000	新社員会費
	小計	36,200,000	35,900,000	300,000	
3.負担金	1.大町市	1,740,000	0	1,740,000	バス停整備事業、免税・QR決済システム導入事業、関西方面誘客事業
	2.白馬村	3,758,000	0	3,758,000	バス停整備事業、免税・QR決済システム導入事業、関西方面誘客事業、氷河調査事業
	3.小谷村	1,770,000	0	1,770,000	バス停整備事業、免税・QR決済システム導入事業、関西方面誘客事業
	4.索道事業者協議会	0	4,000,000	-4,000,000	
	小計	7,268,000	4,000,000	3,268,000	
4.補助金	1.国	4,460,000	9,683,000	-5,223,000	観光振興事業費補助金(国際競争力の高いスノーリゾート形成促進事業) ¥4,460,000-
	2.長野県	15,960,000	10,701,141	5,258,859	観光地域づくり重点支援事業補助金 ¥10,980,000-
	小計	20,420,000	20,384,141	35,859	地域発元気づくり支援金 ¥4,980,000-
5.雑収入	1.雑収入	180	30,194	-30,014	預金利子等
	小計	180	30,194	-30,014	
6.借入金	1.借入金	0	11,056,430	-11,056,430	
	小計	0	11,056,430	-11,056,430	
計		71,742,300	81,303,660	-9,561,360	

予決算概要 - 予算(支出の部)

支出の部

項目	内訳	予算額	前年度支出額	差異	摘要
1.事業費	1.デザインコード作成事業	0	6,096,712	-6,096,712	
	2.ホームページ関係費	3,000,000	2,945,340	54,660	旅行商品の販売の為のホームページ（ワンストップ）設計コンサルティング費用、販売に関する専門家による勉強会開催費用
		15,840	15,840	0	プロバイダ利用料 12か月分
	3.パンフレット作成費	0	3,435,480	-3,435,480	
	4.BCルール策定事業	0	2,944,390	-2,944,390	
	5.スノーリゾート整備事業	8,920,000	15,972,960	-7,052,960	バス停整備事業：バス停看板の統一と多言語化、識別マグネットシートのバスへの添付に係る費用
	6.クリーン認証制度策定事業	0	285,826	-285,826	
	7.SDGs事業	2,000,000	0	2,000,000	取組みチェックシートと啓蒙用ポップ・HP制作費、講習会の会場代・講演者への謝礼金等
	8.デザインコード八景選定事業	1,300,000	0	1,300,000	八景選定と選定後の商品開発及び地域の魅力を発信するための小冊子制作・広報費用、その他打ち合わせに係る費用等
	9.免税・QR決済システム導入事業	3,000,000	0	3,000,000	免税・QRコード決済システムの普及：初期導入費用（端末代、初期設定費用）
	10.夏期アンケート事業	1,500,000	0	1,500,000	夏期の山と商業施設におけるアンケート設計、集計、分析、報告委託費、ノベルティ費
	11.感染症対策事業	1,000,000	0	1,000,000	感染症対策セミナー開催会場代、ステッカー作成制作費
	12.関西方面誘客事業	6,000,000	0	6,000,000	まっもとと空港神戸線を利用する旅行商品造成支援等の実証における費用
	13.氷河調査事業	6,228,000	0	6,228,000	試験的なコンテンツの開発支援、学識者を交えたコンテンツ開発検討会、氷河活用ロードマップの作成、唐松沢氷河・杓子沢雪渓・不帰沢雪渓調査
	小計	32,963,840	31,696,548	1,267,292	
2.管理費	1.給与・手当	27,000,000	23,782,000	3,218,000	事務職員5.5名分人件費（半年5名、半年6名体制）
	2.法定福利費	4,300,000	3,756,556	543,444	事務職員5.5名分福利関係費
	3.退職金引当金	1,700,000	697,000	1,003,000	事務職員4.5名分退職金積立
	4.事務所関係費	1,250,000	1,238,400	11,600	水道光熱費、電話、FAX、コピー使用料等
	5.需用費				
	5-1.支払手数料	80,000	60,550	19,450	各種支払いの際、振込料
	5-2.旅費交通費	20,000	6,351	13,649	会場への移動の際、交通費等
	5-3.外注費	300,000	292,380	7,620	会議録原稿起こし、PC各種設定、プレスリリース、委託料
	5-4.会議費	10,000	3,280	6,720	打合せ飲食代、会議の折、お茶代等
	5-5.通信費	10,000	8,362	1,638	切手代・郵送料等
	5-6.消耗品費	50,000	42,239	7,761	名刺、印鑑、事務消耗品等
	5-7.リース料	250,000	219,301	30,699	PCリース料、携帯電話通信料、ZOOM利用料等
	6.会計代行費用	613,000	541,549	71,451	会計顧問料 ¥132,000-、議事録作成 ¥11,000-、社保等各種手続き業務料 ¥100,000-、申告手数料費用 ¥40,000-、登記手数料 ¥30,000-、給与計算等業務料 ¥300,000- 等
	7.法人税等	30,000	19,200	10,800	法人村県民税等
	8.預り金支払い	180,390	29,394	150,996	事務職員の預かり源泉所得税・社会保険料・住民税の支払い
	小計	35,793,390	30,696,562	5,096,828	
	1.予備費	2,985,070	0	2,985,070	
	小計	2,985,070	0	2,985,070	
4.借入金の返済	1.借入金の返済	0	11,056,430	-11,056,430	
	小計	0	11,056,430	-11,056,430	
計		71,742,300	73,449,540	-1,707,240	

注記

※本会計処理は、現金主義による収支決算書にて処理しています。

お問い合わせ先



〒399-9301

長野県北安曇郡白馬村北城6329-1 3F

一般社団法人 HAKUBAVALLEY TOURISM

Tel 0261-71-1898 Fax 0261-71-1899

www.hakubavalley.com